

山口 歩教授 略歴と業績

I. 略 歴

1959年8月	東京に生まれる
1992年3月	東京工業大学理工学研究科社会工学専攻博士課程修了
1995年4月	立命館大学産業社会学部助教授
2003年4月	立命館大学産業社会学部教授
2025年3月	立命館大学定年退職
2025年4月	立命館大学特別任用教授・名誉教授

(主な学内役職歴)

2001年4月～2002年3月	生涯学習担当主事
2004年4月～2006年3月	教養教育センター員
2005年4月～2006年3月	入試担当学部主事
2006年4月～2007年3月	副学部長
2009年4月～2010年9月	産業社会学部専攻長（現代社会専攻）
2023年4月～2024年3月	教養教育委員会委員
2023年4月～2024年3月	デジタル工房運営委員会委員

II. 専門分野

専門分野 産業技術論
担当科目 科学・技術と社会
学 位 学術博士
研究課題 日本における電力技術の構造
所属学会 日本科学史学会

III. 主な研究業績

論 文

1. 山口歩「戦間期の日本におけるボイラー製造業の発展について」『東京工大 科学史集刊』12号 1993年
2. 山口歩「宮原次郎と宮原缶」『科学技術ジャーナル』76号 1998年7月
3. 山口歩「我が国近代土木工学の祖—田辺朔郎」『科学技術ジャーナル』81号 1998年12月
4. 山口歩「近代工作機械の父—ヘンリーモーブレイ」『科学技術ジャーナル』86号 1999年5月
5. 山口歩「今みなおされているスターリングエンジンの親—ロバート・スターリンク」『科学技術ジャ

- ーナル』92号 1999年11月
6. 山口歩「19世紀物理学の金字塔—エネルギー保存則とジュール」『科学技術ジャーナル』98号 2000年5月
 7. 山口歩「日本におけるリサイクル技術の現状と課題」『立命館産業社会論集』36巻1号 2000年6月
 8. 山口歩「風力発電の先駆者—ポール・ラクール」『科学技術ジャーナル』104号 2000年11月
 9. 山口歩「風力発電機の技術特性とデンマークにおける技術発展過程」『技術史』第2号 2001年
 10. 山口歩「電子楽器の創始者—レオン・テレミン」『科学技術ジャーナル』113号 2001年8月
 11. 山口歩「現代風力発電の経済性について」『立命館産業社会論集』38巻1号 2002年6月
 12. 山口歩「日本における風力発電事業の課題と展望」『立命館産業社会論集』42巻1号 2006年6月
 13. 山口歩「風力発電を支える日本の社会条件」『日本の科学者』43巻 2008年4月
 14. 山口歩「風力発電の普及と電力政策の転換」『経済』171巻 2009年11月
 15. 山口歩「日本の原子力発電に関わるデータについて」『立命館産業社会論集』54巻3号 2018年12月
 16. 山口歩「温暖化と個人化の関係」『立命館産業社会論集』54巻3号 2018年12月
 17. 山口歩「Debussy のカタチにまつわる5の断章」『立命館産業社会論集』54巻4号 2019年3月
 18. 山口歩「画像読み解きワークについて」『立命館産業社会論集』55巻1号 2019年6月
 19. 山口歩「<ベースロード電源>という概念と原発の共生関係」『立命館産業社会論集』60巻3号 2024年12月

著書

1. 山口歩（共著）「技術発展を測るものさし—寿命の問題を軸に」
『21世紀の日本を見つめる』立命館現代社会研究会編 晃洋書房 2004年10月
2. 山口歩（共著）「再生可能エネルギー：風力発電技術の可能性とその社会」
『科学・技術と社会を考える』兵藤友博編 ムイスリ出版 2011年11月
3. 山口歩（共著）「ポストコロナ期に求められる教育—「競争主義」に対峙する OA に学ぶ」
『感染症を学校でどう教えるか』池田・杉浦他著 明石出版 2020年12月
4. 山口歩（共著）「SDG's プラスティック問題」
『みんなでつくろう SDG's 授業プラン』杉浦他著 旬報社 2022年
5. 山口歩（共著）「大学教育において<考える力>を再構成する道について」
『現代社会を拓く教養知の探究』現代教養研究会編 晃洋書房 2024年3月

以上